

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・都市環境デザイン	
国語 I (Japanese I)	担当教員	松田 信彦 (Matsuda, Nobuhiko)	
	教員室	一般科目棟3階 (内線 9042)	
	E-Mail	n-matuda@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 30回		
〔本科目の目標〕 国語を的確に理解し、適切に表現する基礎的能力を身に付けるとともに、言語文化に対する関心を高め、言語感覚を豊かにし、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。			
〔本科目の位置付け〕 本学国語関係科目の基礎的意義を有する。現代文を中心に古文、漢文の各領域において、基本的な読解能力を養うと同時に、それに基づく考える力を身につけ、国語能力の基礎形成を図る。			
〔学習上の留意点〕 教材の中の様々な問題について自分の意見を持ち、的確に表現できるようにする。常用漢字、重要語句を確実に修得する。また、授業に積極的にに関わり、教師からの質問にも進んで答えるよう心がける。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
【新編国語総合】 1. 評論 「ガリヴァーとアリス」	4	<ul style="list-style-type: none"> 漢字・語句を正しく読み書きし、またその意味が理解できる。 段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで筆者の意見を理解できる。 二つの対照的な具体例を使った実証の仕方が理解できる。 	教科書本文の音読 配布する予習プリント
2. 詩 「二十億光年の孤独」 「冬が来た」	3	<ul style="list-style-type: none"> 詩の形式や内容上の分類、基本的な詩の修辞技巧をふまえ、作者の意図 (主題) を理解することができる。 作者や作品の文学史上の位置付けをふまえ、詩人の発想や詩に込められた作者の気持ちや主張を理解できる。 	教科書本文の音読 配布する予習プリント
【チャレンジ常用漢字】 3. 5級 (p.2~p.17)	1	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な語彙力の強化をはかり、漢字を正しく読み書きできる。 	漢字の読み書きを自学自習する
【クリティカル日本語】 4. 第 I 部 文章作成の基礎 1 章～3 章	6	<ul style="list-style-type: none"> 会話と文章の区別を理解できる。 考えを文字化することができる。 私的な文章と公的な文章の区別ができる。 事実と意見の相違点を理解できる。 	教科書の該当範囲を一読しておく
---前期中間試験---		授業項目 1～3 の達成度を確認する。	
【新編国語総合】 5. 小説 「羅生門」	5	<ul style="list-style-type: none"> 作者についての正しい知識を前提に、作品の成立した背景を十分に理解し、文学史上の位置づけを知ることができる。 小説特有の表現を踏まえ、人物・情景・心情などに注意しながら、作者の表現したい意図 (主題) を理解することができる。 	教科書本文の音読 配布する予習プリント
6. 評論 「自己基準と他者基準」	2	<ul style="list-style-type: none"> 段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで筆者の意見を理解できる。 評論文の構成を理解し、かつ評論文特有の抽象的な語句も理解できる。 	教科書本文の音読 配布する予習プリント
【チャレンジ常用漢字】 7. 4級 (p.18~p.45)	1	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な語彙力の強化をはかり、漢字を正しく読み書きできる。 	漢字の読み書きを自学自習する
【クリティカル日本語】 8. 第 I 部 文章作成の基礎 4 章～6 章	6	<ul style="list-style-type: none"> 客観的な文章が書ける。 誤解の生じない文章を書くことができる。 自分の主張を明確に述べることができる。 	教科書の該当範囲を一読しておく
---前期期末試験---		授業項目 5～7 の達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解出来る。	

